

豊浦町議会だより

つながり



祝 第73回 豊浦町成人式

主 な 内 容

定例会12月会議

- 一般質問 2
- 議案審議 9
- 補正予算 9

定例会11月会議 (第34期)

- 議会新体制 11

村井町政の疑問を
5名の議員が

問う!!

一般質問



山田 秀人 議員 国保税、5年間かけて値上げ！

大里 葉子 議員 光触媒で、新型コロナウイルス感染予防対策は

勝木 嘉則 議員 豊浦町のハイウェイオアシスと
付随している展望公園は

渡辺 訓雄 議員 バイオガスプラントの実態と収支状況は

石澤 清司 議員 豊浦町総合戦略の効果検証は

Q

国保税、5年間かけて値上げ！



村井 洋一 町長

北海道の運営方針に基づき
税率改正を進めています。

A



山田 秀人 議員

Q

質問 1

バイオガスプラント事業

- ① 専門家（機関、法人）への委託について。
② 安全な液肥づくりと安価な提供について。
③ 電力買取価格の引き上げの要請について。
④ 余熱利用策について。
⑤ 町施設を含めた町民への電力供給について。

A

答弁（町長）1

- ① 運営の管理委託を変更した場合には、あり得るが現在は直営の管理運営としています。
② 下水処理場から出る脱水ケーキ（汚泥）の投入をやめ、肥料として利用の予定です。利用しやすい料金としたいと考えています。
③ 国は温室効果ガスの削減目標を掲げており、買取価格の引き上げを要請します。

⑤ 自営線導入の発電所から公共施設などへの電力供給は、維持管理の観点から難しいため、災害時での停電を踏まえ、避難所の電力供給は蓄電池や電気自動車などの活用を検討します。

Q 質問 2
若い人が住みやすい街づくり

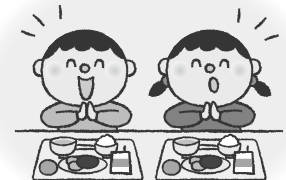
① 出産・育児・教育にかかわる子育て世代の負担軽減と支援の取り組み。
② 小・中学校の給食費の無料化実施について。

A 答弁(町長) 2

① 高校生までの医療費の全額助成、保育料及び食材費の完全無償化、認可外保育施設等利用料の全額助成、高校生の通学費及び公立小・中学校給食費の半額助成を行っています。

② 学校給食の無料化の実施は、

今後の社会情勢や本町の財政状況を踏まえ判断します。



Q 質問 3
お年寄りをはじめ誰もが安心して暮らせる街づくり

① 国保税や介護保険料の値下げについて。
② 補聴器や介護ベッドなどの高額機器への助成について。

③ 買い物の実態調査と要望を聞きやすい物施設の実現について。

④ 集落毎の街づくりと振興策について。

A 答弁(町長) 3

① 国保税は、国及び北海道の運

営方針に基づき、令和2年度から税率改正(税率値上げ)を進めています。今後の介護保険料の上昇は、現行の制度を維持するためには避けがたい状況にあります。

③ 町が買い物施設を整備しても運営可能な事業者がいなのが現状です。

④ 予算編成前に各自治会からの要望を取りまとめ、次年度の予算に反映させます。

Q 質問 4
農林漁業と観光を柱にした地場産業の振興

① 豊浦いちごや畑作・畜産業の振興について。

② ホタテ貝へい死による被害で大きな痛みを受けている漁家への支援について。

③ 後継者・新規就農者への支援拡大とともに、研修に協力する農家負担の軽減について。

A 答弁(町長) 4

① 豊浦いちごや畑作・畜産業の振興は、当町において重要な事業です。農協をはじめ、各関係団体とも意見交換を行って要望や課題を聞き取りし、時代にあつた振興策を予算化しています。

② ホタテ貝へい死による被害で大きな痛みを受けている漁家への支援は、漁協をはじめ、各関係者、指導所および水産試験場との連携も密にし、へい死の要因やその対策や必要な支援策について進めたいと考えています。



光触媒で、新型コロナウイルス 感染予防対策は

Q



村井 洋一 町長

公共施設等への導入の可能性について調査研究していきたいと思えます。

A



大里 葉子 議員

Q

質問 1

バイオガス余剰熱を利用した温室栽培や陸上養殖

海を知らない海水魚を養殖する「好適環境水」は、ナトリウム・カリウム・カルシウムを真水に加えたもので、海水よりも早く成長しかも味も良く、真水と稼働用のエネルギーがあれば、山の中でも砂漠でも養殖が可能で、海水や人工海水よりもコストが低い。

さらに、魚類飼育水中に含まれるリン・窒素は野菜の生育に問題なく、魚類の養殖と同時に水耕栽培も可能。野菜と魚を一緒に育てる「農漁」、これからの日本は、農漁者が日本を救うであろうと言われています。

余剰熱で陸上養殖・ハウス栽培を魔法の水「好適環境水」を使い、別々の事業ではなく、1つの事業とし、農林水産業みらい基金を使って、実施に向けて考えていただきたいが伺います。

A

答弁(町長) 1

農業・漁業の1次産業の振興を図っている豊浦町です。進んでいる技術革新を十分に捉えながら将来のまちづくりに役立てていきたい。各関係機関と話し合いながら調査研究に向けて検討してまいります。

Q

質問 2

誹謗中傷防止条例の制定

時に言葉は人を殺すこともあり。今、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染した人や医療従事者を差別や誹謗中傷から守るため、差別禁止を盛り込んだ条例を制定している自治体が増えてきています。

町民の方から「感染者1号になりたくない」「感染したら何を言われるかわからない」「誹謗中傷が怖い」と声が上がっています。町民を守る、思いやりのある社会を目的として、コロナも絡み差別

A

答弁(町長) 2

禁止を盛り込んだ町独自の条例を早期に制定していただきたいが伺います。

豊浦町に合った誹謗中傷のない思いやりのある、皆さんが助け合う明るい社会を目指すため、新型コロナウイルスだけでなく、その他の誹謗中傷も含め、他都市や他県の条例制定などを踏まえながら情報提供を図り、制定に向けて取り組んでいきます。

Q

質問 3

光触媒で、新型コロナウイルス
感染予防対策

光触媒は、太陽光や蛍光灯などの光を吸収して、その表面に強力な酸化力と親水性を生み出す材料です。セルフクリーニング効果・消臭・空気浄化・抗菌・抗ウイルス効果等、ウイルス活動を抑制します。

令和2年9月25日、奈良県立医

科大学、東京工業大学等の研究グループは、（世界初）新型コロナウイルス感染の不活化を確認するとともに不活化の条件を明らかにし、「可視光応答型光触媒が効果あり」と学術見解を発表されました。1時間で99・7%の減少、2時間で99・99%以上のウイルス量が減少しました。本町でも病院・学校・保育園・公共施設等に光触媒で感染予防に取り組んでほしいと思いますが伺います。

A 答弁（町長）3

町民の生命や健康を守ることを第一と考えています。光触媒についての情報収集と費用対効果の検証を行い、公共施設等への導入の可能性について調査研究していきたいと思えます。

Q

豊浦町のハイウェイオアシスとそこに付随している展望公園は



勝木 嘉則 議員



村井 洋一 町長

A

アクセス道路の拡張等、有効活用に努めます。

Q 質問 1

豊浦町のハイウェイオアシスとそこに付随している展望公園

展望公園の中の標識が整っているか伺います。また、距離の表示がなく、わかりやすいよう改善していただきたいが伺います。

A 答弁（町長）1

アクセス道路の拡張、ライトアップ、イベントの開催、営業時間の延長等、有効活用に努めます。

Q 質問 2

障がい者の雇用とグループホームの入居者の実態

- ①障がいのある方の雇用への工夫や課題について。
- ②グループホームでの暮らしの課題について。
- ③グループホームへの入居の受け入れについて。

A 答弁（町長）2

- ①ハローワークや各部局と相談し、家族や支援相談員と勤務条件を障がいの程度に応じて雇用の確保に努めます。
- ②障がいの区分には関係なく入居可能ですが、現在は定員が満たされています。
- ③近隣市町も含めて検討します。まずは、やまびこにご相談ください。



Q

バイオガスプラントの 実態と収支状況は



村井 洋一 町長

令和2年度の収支状況も予算より支出増になりますが、事業内容を見直し、検討を行います。

A



渡辺 訓雄 議員

Q

質問 1

町議選開票と 掲示記入の実態

10月25日に行われた町議会開票時のプロセスについて、傍聴者よりの様々な苦情について伺います。

①新鋭機を導入したにもかかわらず、最終当落の決定発表までのプロセスについて。

②掲示記入の投票数の文字が小さすぎて見えにくいとのことですが、掲示記入投票数目的の理由について。

A

答弁（選管）1

①疑問票の審査における選挙管理委員や選挙立会人の意見聴取においても、密集・密接の状態をできるだけ回避するために2段階で実施するとともに、選挙立会人の配席を一人ひとり距離を空けるなど、新型コロナウイルス感染予防を図るために従来の選挙とは違う形で開票を進めてきました。

②公職選挙法第6条第2項に規定されている選挙の結果を選挙人に対して速やかに知らせるように努める必要があることから、より

参観人が見えやすい掲示の大きさや場所について工夫します。

Q

質問 2

大岸拠点化施設及びイン ディアン水車の加工部分 の実態

6次化に向けた施設実態の取り組みについて伺います。

①利用状況と収入額等について。
②いつ、誰が、何を研究し、加工されたか現状について。

A

答弁（町長）2

①と②と合わせてお答えします。大岸の拠点施設は町の直営で管理しており、現在までの加工室の利用状況は町内の方が30回の利用をされ、いちごを使った加工品製造やオリーブの葉の加工、ハーブティーの乾燥などの利用となっております。

り、使用料については、冷凍庫の使用料なども含め約49万円となっております。インディアン水車については、民間の方へ指定管理施設として管理いただいております。施設内加工室は利用されており、ホタテを使った佃煮や秋鮭の加工品を施設内の飲食コーナーで提供しているメニューの加工にも利用していると確認しています。なお、加工品販売収入は加工者の収入です。

Q

質問 3

バイオガスプラントの 実態と収支状況

①創意工夫し取り組んでいる事業の稼働実態と収支状況について、令和2年度収支予定と差異があるかないか、現状について。

②施設委託契約会社の現状は、当初と会社名等に変更はないか。

A

答弁（町長）3

①稼働実態と収支状況については、本議会でも補正予算の提

案をし、春から積雪前まで消化液

の散布を実施しており、1日1台

あたり7回から8回圃場との往復

により散布用の後ろのタンカーの

タイヤの劣化が激しいことから、

タイヤ及び燃料費についても増額

の提案をしています。原料も予定

量を投入している状況で、収支状

況は年度途中でもあり、年間を通

して確定した段階で報告させてい

ただきたいと考えていますが、令

和2年度の収支状況も予算より支

出増になります。事業内容を見

直し、検討を行います。

②施設委託契約会社の現状は、

当初と会社名に変更はありません。

Q 質問 4

生涯スポーツ等の推進

町民皆スポーツと掲げ、いつで

も、誰もが各施設を活用し、健康と

体力増進等に向け利用しています

が、伺います。

①生涯スポーツ等の現状と新たな取り組みと、年齢別個人家族等

の利用状況について。

②平日と土日の利用状況について。(個人及び家族等)

③マネリ化した施設利用を管

理人等に各種健康スポーツ等の基

礎的ライセンスを取得させ、利用

向上に向け、創意工夫した新たな

取り組みについて。

A 答弁(町長) 4

①中期計画の方針に基づき、「生

涯スポーツ」「町民皆スポーツ」

を目指し、各種大会や教室の開催

指導者の育成などに努め各種行事

を進めており、新たな取り組みは

令和元年度にニュースポーツ体験

会として、3A(スリーエー)・

フロアカーリング・フライングデ

イスク・ストラックアウトの体験

会を実施しています。今年度は一

番人氣のあった室蘭市発祥の3A

をメインに実施する予定でいまし

たが、コロナ禍により中止したと

ころです。また、年齢別個人家族等に分けた利用状況は、平成31年

度実績で、ファミリースポーツセ

ンターでは一般利用者3919人

(幼61人・小757人・中813

人・高212人・一般2076

人) 団体利用者6963人、ふる

さとドームでは一般利用者837

人(幼34人・小227人・中10

5人・高21人・一般450人)、

団体利用者4739人となっています。

②ファミリースポーツセンター

の土・日・祝日利用者は2379

人、ふるさとドームの土・日・祝

日利用者は2539人が利用され

ている現状です。

③既存の施設の管理人に新たに

ライセンス等を取得させることは

現在のところ考えていませんが、

利用向上と施設を活用してできる

新たな事業等の取り組みをスポー

ツ推進委員・スポーツ協会などと

共に連携しながら取り組んでいき

ます。

Q 質問 5

林業専用道路西川線工事

の不調

様々な事情があつてのことと考

えますが、2回の入札執行不調の

理由について、また、今後工事入

札を中止するのか、今後の取り組

みについて伺います。

A 答弁(町長) 5

令和2年7月21日に1回目、同

9月1日に2回目を行いました。が、

いずれも入札予定価格内に至らず

不調となっています。補助事業で

あることから、胆振総合振興局に

不調になった様々な理由と業者か

らの工事内訳内容を報告し、今後

の工事発注は、翌年度へ事業繰越

申請をし、令和3年度早期に工事

を発注する予定です。

Q

豊浦町総合戦略の効果検証は



村井 洋一 町長

目標値のKPIを達成し、
今後も発展させる考えです。

A



石澤 清司 議員

Q 質問 1

豊浦町総合戦略の
効果検証

平成27年度から平成31年度までの5年間、総合戦略策定会議を開き、一次産業を活かした新しい産業の創出・転入増加に向けた生活環境の拡充・一次産業を活かした観光商品開発PR・生産基盤強化に向けたエネルギーの有効活用など、基本目標4項目を掲げたそれぞれの目標結果と効果について伺います。

A 答弁(町長) 1

豊浦町総合戦略は、重要業績評価指標(KPI)を掲げ、達成を目指すし各施策に取り組んだものです。結果と検証については、目標値のKPIを達成しました。総合戦略における大きな効果は、バイオガスパラントの建設・農業拠点施設の設置・DMOの組織の創設など、今後も発展させる考えです。

Q 質問 2

第6次豊浦町総合計画に
おける関係人口と新過疎
法を含めた計画の見直し

2018年度から2027年度「将来のまちの姿」の実現に向けた基本目標と政策が示されました。2019年12月に国が公表した第2期「まち・ひと・しごと」創生総合戦略に、新たな概念として関係人口の創出・拡大を求めました。来春過疎法が期限切れになる前に総務省の過疎問題懇談会が4月17日に報告書を公表しました。初めて掲げられた「地域・住民・学校の連携による人材育成」であります。国が示したことに合わせ、本町の総合計画の見直しが必要と考えますが伺います。

A 答弁(町長) 2

本年は3年目の計画です。いずれの計画も「関係人口」の概念がなく、「移住・定住」を看板に掲

げたものとなっています。国が方向転換した「関係人口の創出」は新たに豊浦町を応援してくれる人の確保を目指すものです。現行の過疎法は令和3年3月末をもって期限を迎えますが、現時点での方針等の確定事項に関する情報は届いていません。総合計画の見直しは2022年に検討することと考えています。



国保税5年連続値上げ 住民票は300円に(手数料)

定例会12月会議

12月9日から11日までの3日間、定例会12月会議が再開され、「国民健康保険税条例」「手数料徴収条例等」「選挙運動の公費負担条例」が可決されました。

●「豊浦町国民健康保険 税条例」

国保税条例一部改正では、これまで納税者負担を抑えるため公費投入を行ってき

ましたが、国・北海道の方針もあり、国保会計赤字解消のため、一般会計からの繰り入れを令和7年度までとしました。改正は、資産割(固定資産税の約6割)を廃止し所得割(1・59%引上げ)、均等割(4600円引上げ)、平等割(2万1400円引上げ)の税率を上げる結果となりました。

た。

条例案に対し反対・賛成

の討論の後、賛成4名(木村、小川、勝木、石澤の各議員) 反対3名(大里、山田、渡辺の各議員)をもって可決されました。

◎討論の要旨

反対討論(山田議員)

今回のこの条例改正は、社会保障制度の改悪に対する、政府の市町村への攻撃。年間98万円、4人家族、夫婦子ども2人の4人家族の場合。年間98万円の中で税負担が約1割近く占める。極悪強烈な改悪案です。

賛成討論(木村議員)

苦渋の選択、消極的選択です。税が上がることでよって苦しむ人が出てくる。その方々に救済の手を差し伸べていけるか。減免措置も含めて、十分に活用しながら、救済の措置をしていただきたい。今、国策を批判しても、突然この制度があしたに変わるわけではない。制度には、構造的な欠陥がある。

●住民票300円に

「豊浦町手数料徴収条例等」手数料徴収条例等の一部改正では、平成12年以降据え置きとしてきましたが、物価変動等を踏まえ全面的に改正され、全会一致で可決されました。住民票、印鑑証明は300円(現行200円)に引上げ本年4月から。

●選挙運動公費負担に

「豊浦町議会議員及び豊浦町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」

公職選挙法の一部が改正され町議会議員・町長選挙における選挙運動の公費負担の事項が定められました。

(1) 町長選挙
運動用自動車、ポスター、ビラの公営拡大。

(2) 町議会議員選挙
ビラの頒布解禁、運動用自動車、ポスター、ビラの公営、供託金15万円導入。

全会一致で可決



●「人権擁護委員承認」

任期満了に伴う、荒井常昭氏を再任。

全会一致で可決

補正予算

【一般会計】

《歳出》

●コロナに負けるな!!豊浦町指定管理施設の安定管理継続支援交付金

(2900万円)の追加

商工会等(町指定管理施設)に、利用料金の収入減や予防対策等に2900万円を追加補正するもの。

(1) 減収支援

●豊浦温泉しおさい

2600万円

町商工会指定管理者

(2) 感染予防支援

●豊浦温泉しおさい

100万円

町商工会指定管理者

●道の駅(指定管理者の名称)、すいしや(名称)、社会館、とわにー(商工会)

各々50万円



● 心身障害者等支援費（1935万2千円）の増額
各サービスの給付費増減に伴い、給付費が増加したため増額するもの。

● バイオガスプラント運営事業（790万7千円）の追加

会計年度任用職員の入れ替えに伴う過不足及び施設運営に係る新たな消耗品の購入と諸経費において不足が発生する見込みのため増額するもの。

● 豊浦町起業化促進雇用創出応援事業補助金（700万7千円）の増額

豊浦町起業化促進奨励金として、当初2件で予算計上していたが、6件の申請があったため増額するもの。飲食業及び宿泊業各2件のほか、木工業、養殖業各1件。

全会一致で可決

【特別会計】

● 総合保健福祉施設事業（678万5千円）の増額

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、感染拡大防止消耗品のかかりまし経費の追加及びやまびこ2階談話室の改修を行い、感染拡大防止を図るため、事業費を増額するもの。

全会一致で可決

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額を求める意見書」

提出者 山田議員
賛成者 渡辺議員、勝木議員、大里議員

新型コロナウイルスの新規感染者が過去最多を更新しているもとで、国が検査と医療の拡充、営業と雇用を支える制度を抜本的に強化する対応が緊急に求められています。

PCR検査体制の大幅な拡充による無症状者の把握・保護を含めた積極的検査への戦略的転換が強く求められています。医療機関や介護施設等への「行政検査」に、自治体の持ち出しが伴うという仕組みは、「社会的検査」を拡充する障害となつていことから改善が求められます。

政府は、地方自治体が飲食店などに地方創生臨時交付金500億円を追加配布することを打ち出しました

が、不十分です。

地方公共団体において、感染拡大の防止や医療体制の確保、年末に向けた企業の資金繰り対策など経済活動の維持・継続など、地域経済や住民生活にとって必要な支援策をするべきです。よって、「地方創生臨時交付金」を大幅に増額することを求めます。

地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

《意見書提出先》

衆議院議長	大島理森
参議院議長	山東昭子
内閣総理大臣	菅 義偉
財務大臣	麻生太郎
総務大臣	武田良太
厚生労働大臣	田村憲久

全会一致で可決

議会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、傍聴席の間隔を確保するため、傍聴席の一部を使用不可としております。また、傍聴時にはマスクを着用のうえご入室いただきますことをお願いしております。

皆様方にはご不便をおかけしておりますが、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

議会の新体制が決まりました!



副議長
石澤清司

■副議長選挙

- ・石澤清司 5票
- ・山田秀人 2票
- ・勝木嘉則 1票



議長
根津公男

■議長選挙

- ・根津公男 5票
- ・渡辺訓雄 2票
- ・白票 1票

令和2年11月16日に議会議員選挙後の初議会として定例会11月会議が開会され、議長選挙等が行われました。

議長に根津 公男氏、
副議長に石澤 清司氏を選出
定例会11月会議

■各委員会

【総務文教常任委員会】

- 委員長 勝木嘉則
- 副委員長 木村辰二
- 委員 渡辺訓雄
- 委員 石澤清司

※議長は辞任

【議会運営委員会】

- 委員長 木村辰二
- 副委員長 山田秀人
- 委員 勝木嘉則
- 委員 石澤清司

※議長は辞任

【産業建設常任委員会】

- 委員長 大里葉子
- 副委員長 山田秀人
- 委員 小川晃司
- 委員 石澤清司

※議長は辞任

【行政改革調査特別委員会】

- 委員長 木村辰二
- 副委員長 勝木嘉則
- 委員 【議長を除く全員】

【本町通りまちなみ整備調査特別委員会】

- 委員長 小川晃司
- 副委員長 大里葉子
- 委員 【議長を除く全員】

【広報広聴常任委員会】

- 委員長 山田秀人
- 副委員長 勝木嘉則
- 委員 木村辰二
- 委員 小川晃司
- 委員 大里葉子
- 委員 渡辺訓雄
- 委員 石澤清司

【バイオガспラント整備事業調査特別委員会】

- 委員長 山田秀人
- 副委員長 大里葉子
- 委員 【議長を除く全員】

■西胆振行政事務組合

- 議員 勝木嘉則
- 議員 大里葉子

■西いぶり広域連合

- 議員 石澤清司
- 議員 木村辰二

◆監査委員の選任



小川晃司 議員

豊浦町議会議員の任期満了に伴い、新たに議員のうちから選任するに当たり、地方自治法第196条第1項の規定に基づき、議会の同意を得て、小川晃司議員を選任しました。

全会一致で可決

※議長は辞任

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について

コロナ対策に、学校関係2,174万円、病院関係2,094万円分などの事業を実施!!

(単位：千円)

対象	事業名	事業費	主な使用目的
商工会(商工業者)	コロナに負けるな!!豊浦商工業振興緊急対策事業補助金	30,000	交付金、事務費
来庁者、職員	庁舎感染拡大防止事業	1,885	マスク、消毒液等
	選挙感染拡大防止事業	4,968	衛生用品、計数機等
子育て世帯	子育て世帯応援給付金給付事業	5,307	510人×1万円、事務費
	出産育児応援臨時特別定額給付金給付事業	1,800	令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子1人につき10万円を給付
妊娠中の方、受診者等	保健センター感染拡大防止事業	373	マスク、消毒液
学校利用者、児童生徒、教員	小中学校感染拡大防止事業	3,692	マスク、消毒液等
		7,110	学校消毒等作業員の報酬、指導者用デジタル教科書、ハンドソープ、飛沫防止ガード、網戸修繕、大型送風機、水栓取替等
		7,143	加湿空気清浄機、ストーブ等修繕、実物投影機、デジタルカメラ等購入、バス借り上げ、課題等の郵便料等
		1,005	サーキュレーター購入
学校給食調理業者	給食センター感染拡大防止対策事業	2,547	児童生徒用マスク、消毒液、備品購入
		250	臨時休校期間中の補助
社会教育施設利用者、職員	社会教育施設感染拡大防止事業	1,240	マスク、消毒液、図書消毒器
		6,923	排煙窓改修工事、加湿空気清浄機、ペーパータオル、ハンディミスト等
		1,237	サーキュレーター、ジェットヒーター購入
介護施設利用者、職員	介護サービス感染対策事業	821	マスク、消毒液等
	自治会敬老会等事業助成金交付事業	782	75歳以上の方への敬老記念品等贈呈
	やまびこ電話等情報通信器更新整備事業	6,320	電話交換機設備工事等
	介護サービス感染拡大防止事業	6,785	衛生用品、サーキュレーター等購入、やまびこ2階談話室改修工事
病院利用者、職員	国保病院感染拡大防止事業費	2,737	マスク、消毒液等
		780	加湿空気清浄機、パーテーション等購入
		2,310	パソコン購入等
		9,080	電話交換機設備工事等
		660	器械浴室換気改善工事
		5,368	救急処置室・外来診療室等改修工事
避難者、職員等	避難所感染拡大防止事業	10,457	マスク、消毒液、段ボールベッド等
一般家庭、事業者	簡易水道・公共下水道料金減免措置事業	19,953	水道・下水道料金2カ月分
町民、町内商業者	コロナに負けるな!!とようら元気回復応援券配布事業	22,288	町民1人あたり応援券5千円、委託料、付帯事務費
社会福祉協議会(高齢者等)	社会福祉の集い感染症対策支援事業	582	空気清浄機、衛生用品等
未整備地区利用者	光ファイバ整備事業	275,076	NTT東日本への負担金
火葬場利用者	火葬場施設感染拡大防止対策事業	120	消毒作業等の委託料
保育施設職員	保育施設感染拡大防止事業	660	パソコン購入
指定管理者	コロナに負けるな!!豊浦町指定管理施設の安定管理継続支援交付金	29,000	利用料金減に対する支援(1施設)、感染予防対策支援

この交付金は、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和2年4月20日閣議決定)において、新型コロナウイルスの感染拡大の防止や感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援といった、地域経済の活性化等への対応を通じた地方創生を図ることを目的として創設されました。

これまでに本町で行われた事業は上表のとおりとなっておりますが、事業によってはこの交付金以外の補助金等の財源も含まれた金額となっております。事業費合計469,259千円うち、当該交付金は241,219千円を活用しています。なお、金額については、令和2年12月補正予算時のものとなっております。

表紙写真の説明

1月10日 第73回豊浦町成人式

パソコンから動画で議会のように見られます。

豊浦町のホームページ

検索

豊浦町議会→議会中継にお進みください